

# 3年 総合的な学習の時間 テーマ追究 指導案

対 象 3 年 生 全 生 徒  
場 所 3 年校舎 3 階～ 4 階  
指導者 各 専 門 班 担 当 教 諭

## 1 本時の目標

自己の学級に関する改善策を専門班の立場から考える活動を通して、よりよい学級をつくろうとする自主的・実践的な態度を育てる。

## 2 展 開

| 過<br>程 | 時間<br>形態     | 主な学習活動                                                   | ○ 指導上の留意点 ◎ 評価                                                                          |
|--------|--------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 導<br>入 | 5 分<br>一斉    | 1 本時の学習目標と流れの確認をする。<br><div>よりよい学級にするための改善策を決定しよう。</div> | ○ 企画書を見るよう助言して、前時までの活動（学級の改善点を個人で考え、企画を立てる活動）を振り返ることができるようにする。                          |
| 展<br>開 | 10 分<br>グループ | 2 個人で考えた企画のプレゼンを行う。<br>【論理的思考力】                          | ○ 各企画書を他者にわかりやすいよう根拠や理由を付けてプレゼンができるようにする。                                               |
|        | 15 分<br>グループ | 3 提案された企画を思考ツールを用いて分析し、これから実践する企画を一つに絞る。<br>【協働する力】      | ○ マトリックス（座標軸）を準備することにより、それぞれの企画を「実現可能性」と「オリジナリティ」という二つの観点から分析することができるようにする。             |
|        | 10 分<br>一斉   | 4 学級毎に実践する企画を発表する。                                       | ○ 班で話し合った他の企画と比較しながら発表することで、実践する企画を選んだ根拠や理由が伝わるようにする。<br>◎ 二つの観点から実践する企画を考え、伝えることができたか。 |
|        | 5 分<br>一斉    | 5 指名なし発表で、疑問点やアドバイスを伝える。                                 | ○ 学級間で企画を磨き合う必要性を伝えることで、より多くの疑問やアドバイスが発表できるようにする。                                       |
| 終<br>末 | 3 分<br>一斉    | 6 本時を振り返る。                                               | ○ 個人の企画書から学級の取組が決定するまでの過程を振り返ることを促し、活用・発揮した資質・能力を自覚できるようにする。                            |
|        | 2 分<br>一斉    | 7 今後の活動について伝える。                                          | ○ スケジュールを伝えることで、次の活動への見通しをもたせる。                                                         |